

電波新聞

2018年(平成30年)

11月27日

(火曜日)

発行所 電波新聞社

波リミ

東大大学院
都市工学専攻
が社会人を対
象に行ってい
る「東大まち
づくり大学

院」の成果発表会に参加してきた▼社会人のための修士課程・都市持続再生学コースと名付けられた講座。今回は「クリエイティブタウン秋葉原2040」をテーマに、40年に向けてどのような街を発展させるか、4班がまとめたプレゼンを聞いた▼「学生」は、会計士や区議など様々な職で社会経験を積んだ人たち。秋葉原再開発を目指す団体や組織で役員を兼務している松波道廣氏の案内で、現状の秋葉原を見学するなどの演習を重ねた

成果の発表▼アキバを以前からのモノづくりのゾーン、サブカルチャーのゾーンなどに区分け。空きビルなども多い、迷宮のような街とし、そこに集まる国内外からの客層も分析。地元の不動産オーナーの生かし方など、中身の濃い発表が行われた▼大胆な提案もあり、神田川に浮かべるフロアティンクススペースを用意して女性や子どもたちを集める。国内外のスタートアップ企業を受け入れる施設を造る。eスポーツを核とした、新しいエンターテインメントの街にする、などの構想が次々に披露され、参加した秋葉原に関係の深いゲストも感銘を受けていた。公開されることを望む。